



台風シーズン到来

輸送時は最新の気象情報を確認し、適切な判断を

8～9月は台風の発生数が多くなる季節です。輸送における影響も大きく、安全確保に支障をきたしかねません。ドライバーの命と大切な荷物を守るために、出発の前日から当日にかけて気象の最新情報を確認しましょう。国から示された「異常気象時における措置の目安」をもとに、着荷主・発荷主などとも連携を図りながら輸送の可否判断を行ってください。

なお、安全な輸送を行うことができないと判断したにもかかわらず、荷主企業などに輸送を強要された場合は、国土交通省の「悪質な荷主等に関する通報窓口（目安箱）」への投稿や、最寄りの地方運輸局などに通報する手段が設けられています。

異常気象時における措置の目安※

※輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではありませんが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、行政処分が行われます。



降雨時

1時間あたりの降水量**50ミリ以上**の場合

→土砂崩れや河川の氾濫などに
巻き込まれるリスクがある！

**事故に遭う
可能性があり
輸送は
適切ではない！**



暴風時

風速**30メートル以上**の場合

→強風で走行中に
横転する可能性がある！

異常気象時における
措置の目安について
詳しくはこちら



目安箱への
投稿ページはこちら



出典：国土交通省「悪質な荷主等に関する通報窓口（目安箱）」

国土交通省 自動車局貨物課長通達、公益社団法人 全日本トラック協会「ドライバーの命と大切な荷物を守るために！異常気象時は運行中止も視野に…」



高速道路で渋滞発生中！

「渋滞予防運転」の实践をお願いします

8月のお盆期間や夏休みシーズンは渋滞が発生しやすく、疲労による集中力の低下で事故につながってしまうことも。高速道路での渋滞の約7割が「交通集中」によるもので、このうち渋滞発生箇所は「上り坂およびサグ部（下り坂から上り坂にさしかかる凹部）」が約6割と大部分を占めています（2023年）。渋滞緩和のために、以下4つの「渋滞予防運転」をお願いします。

渋滞予防運転の4箇条

①無意識な速度低下に要注意！※

上り坂やサグ部などでのわずかな速度低下が渋滞の原因に（右イラスト）。

※危険回避や安全確保のためのブレーキ使用を否定するものではありません。

②車間距離を確保！

クッションの役割を果たし、後続車にブレーキが伝わるのを防止。

③むやみな車線変更を控える！

むやみな車線変更は後続車にブレーキを踏ませ、渋滞の発生・悪化の要因に。

④すみやかな速度回復！（渋滞時）

渋滞の先頭位置を道路情報板や渋滞ポイント標識でチェック。渋滞通過後は速やかに速度回復を。



出典：NEXCO東日本「高速道路の渋滞対策」